

京都芸術劇場ニュースレター

写真：塚田洋一



11月8日(土)・9日(日) 15:00

森下真樹(舞踊家) × 東芋(現代美術家) ダンス公演

鑄からでた実

昨年秋、こどもの城 青山円形劇場(東京)にて好評を得た舞台『鑄からでた実』、待望の春秋座公演です。この作品は今、注目の現代美術家・東芋と舞踊家の森下真樹がタッグを組み、構想を共にした舞台作品。さらに関西を拠点に活躍するきたまり、近年急速に注目を集める若手ダンサー川村美紀子という強烈な個性を放つダンサーと東芋の独特な世界観が反応し、刺激的な舞台を展開します。東芋さんに、舞台の制作過程についてお話を伺いました。

*

森下さんとの共同作業をするきっかけは、どのようなものだったのですか？

森下さんとは、共通の知人(榎本了菴さん)を通じて知り合いました。その後、動画などを見て、第一印象の「キレイなお姉さん」というイメージとはかけ離れたダンスを踊る森下さんに興味がわきました。実際にソロ公演を観た時、冒頭で彼女の誕生日がスクリーンに大映しになったのですが、私とまったく同じ生年月日に驚き、公演の感想とこの驚きの事実をメールして以来、お互いに対する興味が深くなっていきました。プライベートな交流が始まると、さらなる共通点(三姉妹、O型、九州生まれ、など)も見つかり、運命的な出会いを果たしたことを実感。もしも、こんな二人が共同制作をしたらいったいどんなものが生まれるのか、という興味が湧いて来て、まだ見ぬ将来のコラボレーションの機会を夢想しながら、色々な可能性について話し始めたのがスタートだったと思います。

今回に限らず舞台やダンスとのコラボレーションを多くなさっていますね。

イスラエルのパッドシェバダンスカンパニーとは、コレオグラファー(振付家)のオハッドが、私の作品をNYのギャラリーで観てくれたことがきっかけ

特集

森下真樹(舞踊家) × 東芋(現代美術家) 待望の春秋座公演

「鑄からでた実」 東芋さんインタビュー

— 1・2P

「小栗栖の長兵衛」「口上」「四の切」を上演—

松竹大歌舞伎

市川亀治郎 改め 四代目 市川猿之助 襲名披露
九代目 市川中 車

— 4P

共同利用・共同研究拠点形成事業

舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点、

「大学の劇場」を活用した総合的な舞台芸術アートマネージメント人材育成事業

— 6P

8月～10月 公演スケジュール

— 7P

京都芸術劇場ニュースレター——特集

です。その他、ダンサーの康本雅子さんとのコラボや、京都の劇団ワンダリングパーティに私の個展会場での上演を依頼したこともあります。昨年から参加させていただいた杉本文楽は、横浜の初演を観させていただいた時、映像の一部が良くなかったため、そのことを杉本さんにお伝えすると、「じゃあ東芋、やってみろ」という具合にご依頼いただきました。

本作は、舞踊家の森下さんとの共同制作という大変興味深いものですが、どのように作っていかれたのでしょうか。

まずは公演場所もスケジュールなども決まってない段階から頻繁に食事をし、お互いのことをゆっくり話していきました。互いの姉妹全員を集めて「三姉妹の会」を開いて、それぞれの立ち位置の違

いを模索しようと試みました。

公演の可能性が出てきたころには、共通点よりも正反対の部分が浮き上がってきていたように思います。この時点で、私は「森下さんの鏡」のような存在になれるかもしれないと思い、森下さん

を自分に投影しながら、ひっかかることをピックアップしていきました。森下さんからは「このようなやりとり自体がとても重要なので、東芋の役割はもしかしたら映像を担当することではないかもしれない」という風にも言われました。で



写真：塚田洋一

いよいよ創作活動に移った時から、私はダンスの創作現場に机とコンピュータを持ち込み、同じ場所で創作をし、ダンスと映像の結びつきを強めていきました。それと同時に各部門のプロフェッショナル（照明、音響、音楽担当…）が合流し、たくさんの意見交換がなされ、私の体験したことのない、密なコラボレーションが実現したと思います。

上演から一年を経て、さらに熟成度を増した本公演に、ご期待ください。



写真：塚田洋一

すが、色々アイデアが出るに従い、やはりアイデアを形にするには、映像を使う方が面白いことができそうだ、ということになり、私は映像を作ることになるのですが、森下さんの「広く可能性をさぐる」方法には、とても共感しました。

**振付：森下真樹 美術：東芋
構想：森下真樹、東芋
音楽：栗津裕介
出演：きたまり、川村美紀子、森下真樹
主催：京都造形芸術大学舞台芸術研究センター
制作協力：こどもの城 青山円形劇場
平成 26 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業**

東 芋 (たばいも)

1999 年、京都造形芸術大学情報デザインコースの卒業制作として発表したアニメーションを用いたインスタレーション作品『につぼんの台所』でキリン・コンテンツポラリー・アワード最優秀作品賞を受賞。以後、2002 年に五島記念文化賞美術新人賞、08 年に平成 20 年度タカシマヤ美術賞、11 年に芸術選奨新人賞美術部門受賞。06 年にはシドニー・ビエンナーレに出品、11 年ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表。2014 年 MCA シドニーで個展開催中（～9/7）。



©Kazuto Kakurai

舞台作品としてバットシェバダンスカンパニーとのコラボレーション『FURO』、挿画として新聞連載小説 吉田修一著『悪人』（朝日新聞社）、装画に戌井昭人著『まずいスープ』（新潮社）がある。

【主な作品】



てれコスूप (2011) ステルイメージ ©Tabaimo / courtesy of Gallery Koyanagi



につぼんの通勤快速 (2000) ステルイメージ ©Tabaimo/courtesy of Gallery Koyanagi



につぼんの台所 (1999) 撮影：米倉裕貴 ©Tabaimo/courtesy of Gallery Koyanagi



KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2014 公式プログラム

木ノ下歌舞伎「三人吉三」

10月11日(土) 16:00

12日(日) 13:00

◎公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

監修・補綴 木ノ下裕一 演出・美術 杉原邦生 作 河竹黙阿弥
出演 大村わたる、大橋一輝、堀越涼／武谷公雄、他

京都を拠点に、歌舞伎の演目を現代の視点で捉え直してきた木ノ下歌舞伎。

主宰・木ノ下裕一の指針に基づいて、演目ごとにさまざまな演出家を起用し上演を重ねている。

今回、歌舞伎の中でも最も様式的な台詞と美意識、劇作法をそなえ、「黙阿弥調」と評されるほどの独自性を持った大劇作家・河竹黙阿弥に満を持して挑む。演出

は、昨年の春秋座での『三番叟』をはじめ、数々の木ノ下歌舞伎作品を手がけてきた杉原邦生。木ノ下の綿密な調査と丹念な読み込みが『三人吉三』を新たに見出し、批評性と祝祭性を兼ね備えた杉原の手腕が鮮やかに空間化する。黙阿弥を、歌舞伎を、ひいては日本の現代演劇の源流を改めて問い直す。

※各回終演後に木ノ下裕一・杉原邦生によるポスト・パフォーマンス・トークを行います。



「義経千本桜」(2012年 於：春秋座) 撮影：清水俊洋

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2014 公式プログラム

地点「光のない。」

10月18日(土) 19:00

19日(日) 14:00

◎公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

作 エルフリーデ・イエリネク 翻訳 林立騎 演出 三浦基(地点) 音楽監督 三輪眞弘

京都を拠点に国内外で活躍する劇団「地点」。4回目の参加となる今回のKYOTO EXPERIMENTでは、フェスティバル/トーキョー12で上演され、近年の最高傑作と評された『光のない。』を関西で初めて発表する。

『光のない。』は、オーストリアのノーベル賞作家エルフリーデ・イエリネクが東日本大震災と原発事故を受けて執筆した、濃密なる戯曲。現実以上の現実の「出来事」に応答したこのテキストに対峙し、演劇の声と死者の声を響き合わせながら、「発話する主体」の在処を鋭く問いかける。さらに、音楽家・三輪眞弘による生身の「音声装置」、建築家・木津潤平の舞台空間を得て、音・声と身体が拮抗する圧倒的強度をもった空間が立ち上がる。

※10月19日(日)14:00の回終了後、ポスト・パフォーマンス・トークを行います。



photo: Hisaki Matsumoto

原作サミュエル・ベケット

ARICA「しあわせな日々」

11月29日(土) 15:00

30日(日) 15:00

◎公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

新訳 倉石信乃 演出 藤田康城
出演 安藤朋子、福岡ユタカ 美術 金氏徹平
音楽・サウンドデザイン イトケン 衣装 安東陽子

現代演劇の巨星にして、今なお最前線に立つサミュエル・ベケットの最高傑作『しあわせな日々』。本公演は、常にせりふの意味に支配されない音、モノ、装置、空間との密接な関係を、オリジナルな方法で探ることを続けてきた、東京を拠点とするシアターカンパニー ARICA による上演です。舞台美術は京都ベースの若手現代美術家として活躍めざましい金氏徹平。ポップでありながら、日常の歪みをあぶり出す金氏の創造性、ベケットの劇言語を触発しつつける革命的な舞台は、あいちトリエンナーレ2013で初演、TPAM2014でも上演され、ともに高い評価を得ています。



Ryuji Miyamoto

芸術監督プログラム
第三弾!

松竹大歌舞伎

9月24日(水) 12:00/17:00

市川亀治郎改め 四代目 市川猿之助 襲名披露
九代目 市川中 車

◎公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。



今年3月に行われた、松竹大歌舞伎製作発表の様子より

昨年、京都芸術劇場春秋座の芸術監督に就任した市川猿之助が、いよいよ、思いの深いこの劇場で襲名披露公演を行う。

思えば、亀治郎時代から、春秋座を舞台にさまざまな創造的活動を行い、自身の可能性と歌舞伎の未来を切り開いてきた。今回の襲名公演は、伯父・市川猿翁(三代目市川猿之助)が心血を注いで作り上げた春秋座で、伯父の名跡を襲名するという意味でも意義深い公演になりそうだ。

というのも、そもそも春秋座は、京都造形芸術大学の副学長を務め、春秋座の初代芸術監督でもあった伯父・猿翁の思いの結晶でもあるからだ。

歌舞伎界の革命児としてスーパー歌舞伎の創造など歌舞伎の魅力を追求め続けた猿翁。甥の猿之助は、“アンファン・テリブル(恐るべき子ども)”と言われた亀治郎時代から伯父の影響を受け、精神を継承してきた。

猿之助が、自主公演「亀治郎の会」を旗揚げしたのも、春秋座であった。

平成十四年夏、「第一回亀治郎の会」が行われた。なかでも、義理の息子、俊徳丸に邪恋をしかける「摂州合邦辻」のヒロイン玉手御前は鮮烈であった。花道の出から、「十九や二十」の若さと色気が立ちこめ、本行の文楽や歌舞伎の先輩たちの舞台を研究した成果が見えた。当時まだ二十代。台本も書き演出もしたそうだが、古典の大作を自分なりの解釈で演じたところに、猿翁の後継者としての資質を感じさせた。

以降も春秋座では、在校生が創造した美術を舞台セットにして舞踊を踊ったり、平成二十二年、久々に行った「第八回亀治郎の会」では、当時、京都造形芸術大学学長で画家の千住博氏の描いた「ウォーターフォール」と舞踊「漁樵問答」のコラボレーションを行った。春秋座は猿之助にとって、つねに実験と創造の場であるといえる。

その春秋座の芸術監督に昨年5月就任した猿之助は「伯父がやってきたことの意味を追求めつつ、他の劇場ではやれないことを節操なくやっていく」と宣言。ここからどんな新しい芸術が生み出されるか興味深い。

今回は、猿之助にとって〈西の本拠地〉というべき春秋座での襲名公演。演目は伯父の最高の当たり役の一つで、自身、一昨年から続く襲名公演で演じ続けている「義経千本桜・川連法眼館の場」(『四の切』)の狐忠信だ。

一方、猿翁の長男である九代目市川中車の襲名披露も同時に行われる。中車は、ご存じ、映像や現代演劇の世界で演技派俳優として知られる香川照之。香川は四十六歳にして歌舞伎界に身を投じ、大きな話題を呼んだ。中年から歌舞伎俳優になるリスクはさぞかし大きかっただろうと思われるが、凄まじい努力で一歩一歩階段を上り、歌舞伎俳優としての地歩を固めつつある。そんな中車が一昨年の東京・新橋演舞場での襲名公演以来演じ続けている「小栗栖の長兵衛」。進化し続ける歌舞伎俳優、九代目中車の舞台に期待したい。

そしてまた、「一生かけて演じ続けていきたい」とまで言っていた大切な役をどんなふう自身に血肉にして演じるのか。猿之助は深化し続ける。

産経新聞文化部 亀岡典子

市川猿翁 演出
おくるす 演出

一、小栗栖の長兵衛
長兵衛 市川中車

二、四代目市川猿之助 襲名披露
九代目市川中車

三、三代猿之助 四十八撰の内 義経千本桜
川連法眼館の場
市川猿之助

忠信 源九郎 狐
市川猿之助

市川猿之助
市川中車
中村梅玉
幹部俳優出演

桂 米團治 春秋座特別公演

9月28日(日) 14:00

●公演情報の詳細は
スケジュール一覧をご覧ください。

一部は上方落語の真髄を披露、二部は落語とオペラを組み合わせた「おべらくご」を上演する、春秋座特別バージョンの落語会を開催。

今回の「おべらくご」は、モーツァルトの歌劇『フィガロの結婚』の原曲・筋書きを上方落語に転化。クラシック室内合奏団の演奏にオペラ歌手も交えて、3時間の大作をわずか30分の落語にアレンジします。「落語+オペラ+歌舞伎舞台」という摩訶不思議な和洋文化の融合をお見逃しなく！



過去の公演より

涼風真世 & 京フィル ドリームコンサート in 春秋座

11月1日(土) 14:30

●公演情報の詳細は
スケジュール一覧をご覧ください。

元宝塚歌劇トップスターで、現在もミュージカルを中心に大活躍の涼風真世が、お馴染みのミュージカルナンバーや、懐かしの宝塚ナンバーを、指揮・井村誠貴、京都フィルハーモニー室内合奏団の演奏で華麗に披露する珠玉のコンサート。

予定曲目—— ※曲目は変更となる場合がございます。

- ♪我が名はオスカル～「ベルサイユのばら」より
- ♪星から降る金～ミュージカル「モーツァルト!」より
- ♪100万ドルのキャンドル～ミュージカル「マリー・アントワネット」より
- ♪私だけに～ミュージカル「エリザベート」より
- ♪風と共に去りぬ
- ♪ロッキーのテーマ、ほか



井村誠貴(指揮)



京都フィルハーモニー室内合奏団

シンポジウムと上演

観阿弥の「白髭の曲舞」と能『白髭』

11月15日(土) 14:00

●公演情報の詳細は
スケジュール一覧をご覧ください。

日本の代表的古典芸能の能は、いつ、どのようにして形成されたのか。この問題をめぐって重ねられた研究成果を、シンポジウムと実演で公開する。能に「曲舞」を取り入れ、革命をもたらした観阿弥。応安7年(1374)、12歳の嗣子世阿弥と

もに催した今熊野猿楽と同時期に制作された「白髭の曲舞」を取り上げ、観阿弥の「曲舞」とはどのようなものだったのかを検討し、能役者による再現を通して能の形成について考える。後半は片山九郎右衛門らによる『白髭』上演。

共同利用・共同研究拠点形成事業 舞台芸術作品の創造・受容のための 領域横断的・実践的研究拠点

京都造形芸術大学舞台芸術研究センターは、文部科学省の定める共同利用・共同研究拠点に認定されています。これは、広範な学術研究の発展のため、個々の大学の枠を越え設備や資料などを全国の研究者が共同で利用し、研究をおこなう体制を整備し、学術研究の基盤を強化することを目的に、文部科学省が平成20年に認定制度を設けた制度です。

当センターでは、本学研究者が中心となつて行う「テーマ研究課題」と、学外の研究者に広く課題を公募する「公募研究課題」を実施。京都芸術劇場を使用した、いわば「劇場実験」を核とするプロジェクトを通して、学術研究の基盤強化および新たな学術研究の展開を目指します。

(日程等詳細は共同利用・共同研究HPにて告知いたします。
<http://www.k-pac.org/kyoten/>)

【テーマ研究】

I. 近代日本語における〈声〉と〈語り〉 —「クローデル『繻子の靴』上演のための実践的研究」

研究代表者：渡邊守章（演出家／京都造形芸術大学客員教授）

II. 「コンテンポラリーダンスの創造性と方法論をめぐる 実践的研究」

研究代表者：山田せつ子（舞踊家／京都造形芸術大学客員教授）

III. 「マルチメディアシアターの再定義」をめぐる実践的研究

研究代表者：森山直人（京都造形芸術大学舞台芸術学科教授／演劇批評）

IV. 「舞台衣裳のモダニティに関する実践的研究」

研究代表者：岩村原太（京都造形芸術大学舞台芸術学科准教授／舞台照明家）

V. 「アジアの大学における演劇教育 —劇場を活用した舞台教育の方法論的探究」

研究代表者：平井愛子（京都造形芸術大学舞台芸術学科教授／舞台演技論）

【公募研究】

I. 「老いを巡るダンスドラマトゥルギー」

研究代表者：中島那奈子
(ベルリン自由大学国際リサーチセンターフェロー／ダンス・ドラマトゥルギー、ダンス研究)

II. 「舞台芸術におけるLED照明の可能性ならびに、 デジタルプログラミングとの連動」

研究代表者：藤本隆行
(舞台照明家／京都市立芸術大学構想設計非常勤講師)

III. 「想起の空間としての劇場」

研究代表者：横堀広彦
(東京藝術大学大学院音楽研究科専門研究員／ドラマトゥルギー)

「大学の劇場」を活用した総合的な 舞台芸術アートマネジメント人材育成講座

当センターでは、舞台芸術の未来を切り開く「真に創造的なアートマネジメント人材」の発掘、育成、およびリカレント教育を目的として、「大学の劇場」としての京都芸術劇場の諸機能を活用しながら、〈伝統〉から〈コンテンポラリー〉まで、複数のジャンルに関わるアートマネジメント人材育成プログラムを昨年度に引き続き開催いたします。

本劇場の年間上演計画を軸にしながら、相互に関連したプログラムを展開していきます。

制作者のためのレクチャープログラム

■舞台制作者のための「舞台芸術論」

舞台芸術における「真の創造性」とは何であり、その「創造性」にとって「劇場」のような「環境」はどのような歴史的役割を果たしてきたのかというテーマについて、日本の伝統芸能を含む舞台芸術史や芸術哲学を幅広く横断しながら、批評的に検証するシリーズです。

舞台芸術や各テーマに興味のある方は、制作者に限らずご参加いただけます。

※1回の受講も可能です。

世阿弥の芸論にみる舞台芸術論

講師：天野文雄（京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長・教授）

8月21日(木)

(1)「観客論」をめぐる

会場：NA102 教室（京都造形芸術大学人間館A棟1F）

8月28日(木)

(2)「稽古論」をめぐる

会場：NA301 教室（京都造形芸術大学人間館A棟3F）

9月4日(木)

(3)「芸位論」をめぐる

会場：NA301 教室（京都造形芸術大学人間館A棟3F）

※各レクチャー後半に、渡邊守章（京都造形芸術大学客員教授／演出家）・天野文雄による各主題の「東西」論をテーマにしたトークがあります。

■公演制作の実践プログラム

講座・ワークショップなどの公演事業に関連した企画への参加、リハーサルの見学、公演当日の舞台裏など、現場がどのように動いているのかを体験するプログラムです。以下の対象事業ごとに参加者を募集します。

【対象事業】

シンポジウム+上演

「観阿弥の「白髭の曲舞」と能『白鬚』」(11月15日(土)本番)

演劇公演

『しあわせな日々』(11月29日(土)・30日(日)本番)

コンテンポラリーダンス

『ダンス・ゼミ & ラボ vol.3/3』(2015年2月下旬～3月上旬開催)

※実践プログラムの詳細は、決まり次第京都芸術劇場ホームページ (<http://www.k-pac.org/performance/artmanagement2014.html>) などにて告知します。

9

september 2014

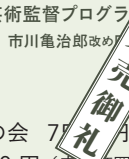
□ 古典芸能/主催公演

24日(水) 12:00/17:00

◆ 春秋座

京都芸術劇場 春秋座 芸術監督プログラム

松竹大歌舞伎



市川亀治郎改め 川猿之助 襲名披露
市川中 車

● 特集 ▶ P.04

【発売中・全席指定】

一般 8500円 友の会 7500円 シニア 8000円
学生&ユース席 3500円 (座席範囲指定)

T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協

□ 落語/主催公演

28日(日) 14:00

◆ 春秋座

桂米團治 春秋座特別公演

● 特集 ▶ P.05

【発売中・全席指定】 ※未就学児童の入場不可

一般 4000円 友の会 3000円 シニア 3500円
学生&ユース席 2000円 (座席範囲指定)

T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協

□ 講演・レクチャー

29日(月) 16:30 公開連続講座①

日本芸能史「総論」

理論: 諏訪春雄

10

october 2014

□ 講演・レクチャー

6日(月) 16:30 公開連続講座②

日本芸能史「文弥人形」

実演: 東二口文弥人形浄瑠璃保存会

□ 演劇/主催公演

11日(土) 16:00、12日(日) 13:00

◆ 春秋座

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2014 公式プログラム

木ノ下歌舞伎「三人吉三」

● 特集 ▶ P.03

【発売 8月1日(金) 11:00・全席指定】 ※当日は各500円増し、高校生以下同額

一般 3500円 友の会、シニア(65歳以上)、学生&ユース 3000円
高校生以下 1000円 ※未就学児童の入場不可

T-C OTS ぴあ 京都芸術センター

◎KYOTO EXPERIMENT チケットセンター tel.075-213-0820 (11時~20時)

□ 講演・レクチャー

13日(月) 16:30 公開連続講座③

日本芸能史

「アジアの人形芝居」

実演: 福富友子

解説: 宇野小四郎

□ 演劇/主催公演

18日(土) 19:00、19日(日) 14:00

◆ 春秋座

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2014 公式プログラム

地点「光のない。」

【発売 8月1日(金) 11:00・全席指定】 ※当日は各500円増し、高校生以下同額

一般 3500円 友の会、シニア(65歳以上)、学生&ユース 3000円
高校生以下 1000円 ※未就学児童の入場不可

T-C OTS ぴあ 京都芸術センター

◎KYOTO EXPERIMENT チケットセンター tel.075-213-0820 (11時~20時)

託児サービスのご案内 [有料・締切は公演の4日前まで]

KYOTO EXPERIMENT の2公演は託児サービスをご利用いただけます。

予約・お問合せ KYOTO EXPERIMENT 事務局 tel.075-213-5839 (平日11~19時)

T-C 京都芸術劇場チケットセンター

e+ イープラス http://eplus.jp

生協 京都、滋賀各大学生協プレイガイド

OTS 劇場オンラインチケットストア

CN CN プレイガイド

KBS KBS 京都事業部 TEL.075-431-8300 (10~17時 ※土・日・祝除く)

ぴあ チケットぴあ http://t.pia.co.jp TEL.0570-02-9999

新聞 京都新聞文化センター(京都新聞社 1F) TEL.075-256-0007 (10~17時 ※土・日・祝除く)

L-T ローソンチケット

*記載のないものについての開場は開演 30 分前

*特に標記のない場合、前売と当日は同じ料金 *ユースは 25 歳以下、シニアは 60 歳以上対象(一部公演を除く) *学生・ユース・シニアは身分証明書提示

□ 講演・レクチャー

20日(月) 16:30 公開連続講座④

日本芸能史「日韓中舞踊の変身」 理論: 諏訪春雄

□ 講演・レクチャー

27日(月) 16:30 公開連続講座⑤

日本芸能史「サルプリ舞」 実演: 梁性玉

11

november 2014

□ コンサート/主催公演

1日(土) 14:30

◆ 春秋座

涼風真世 & 京フィル

● 特集 ▶ P.05

ドリームコンサート in 春秋座

【一般発売 7月30日(水) 10:00、友の会先行発売 7月29日(火) 10:00・全席指定】

一般 5500円 友の会 4500円 シニア 5000円

学生&ユース席 2500円 (座席範囲指定) ※未就学児童の入場不可

T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協

□ パフォーマンス/主催公演

8日(土)・9日(日) 15:00

◆ 春秋座

森下真樹 × 東芋 「錆からでた実」

● 特集 ▶ P.01-02

【全席指定・一般発売 9月3日(水) 10:00、友の会先行発売 9月2日(火) 10:00】

一般 3500円 友の会 2800円 シニア 3200円

学生&ユース(25歳以下) 2000円

T-C OTS ぴあ e+ 生協

□ 講演・レクチャー

10日(月) 16:30 公開連続講座⑥

日本芸能史「能」

実演: 片山九郎右衛門

□ シンポジウム・古典芸能/主催公演

15日(土) 14:00

◆ 春秋座

シンポジウムと上演

● 特集 ▶ P.04

観阿弥の「白髭の曲舞」と能「白髭」

【一般発売 9月10日(水) 10:00、友の会先行発売 9月9日(火) 10:00・全席指定】

一般 2000円 友の会 1600円 シニア 1800円

学生&ユース 1000円

T-C OTS ぴあ 生協

□ 講演・レクチャー

17日(月) 16:30 公開連続講座⑦

日本芸能史「京舞」

実演: 井上八千代

□ 講演・レクチャー

24日(月) 16:30 公開連続講座⑧

日本芸能史「日中地獄破りの芸能」 理論: 諏訪春雄

□ 演劇/主催公演

29日(土)・30日(日) 15:00

◆ 春秋座舞台上

※開演の10分前より整理番号順入場

ARICA「しあわせな日々」

● 特集 ▶ P.03

【一般発売 9月17日(水) 10:00、友の会先行発売 9月16日(火) 10:00・整理番号付自由席】

一般 4000円 友の会 3200円 シニア 3600円

学生&ユース 2000円

T-C OTS ぴあ e+ 生協

募集中!

【京都芸術劇場友の会 会員】

《京都芸術劇場友の会》では、劇場の活動をより知っていただくため、会員の皆様に公演の詳しい情報をいち早くお知らせし、また、チケット割引や先行販売を通じて、少しでも早く劇場をご利用いただけるようサービスを行っております。ご用意できる特典はささやかですが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

《会員特典》

- ① 情報誌「京都芸術劇場ニュースレター」(年3回)や公演チラシを定期的にお届け!
- ② 京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話・オンラインストア)で会員番号によるチケット予約、1公演お一人様4枚(公演により異なる)まで割引料金にて購入可能!(公演により、予約・割引のない場合、窓口・電話のみの対応の場合もございます。)
- ③ 当劇場主催公演など、会員限定の先行販売あり!
- ④ 春秋座、studio21で行われる公開講座、公開シンポジウムなどもご案内!

《入会方法》

Case 1. 劇場チケットセンター窓口にてお申し込み(窓口受付/月～金 10～17時)

Case 2. 郵便振替にてお申し込み

劇場郵便口座へ年会費 2000 円をお振込ください。

郵便局で青色の振込用紙にご記入ください。(振込み手数料別途 100 円程かかります。)

[口座番号] 00970-7-176517 [加入者名] 京都造形芸術大学 京都芸術劇場

[通信欄] ①友の会 新規入会 ②お名前(フリガナ) ③生年月日 ④ FAX(あれば)

[ご依頼人] お客様の住所・氏名・電話番号(わかりやすい字ではっきりとご記入ください。)

【オンライン会員】

登録無料! 24 時間ご予約可能! 選べる受取・お支払い方法!

公演情報をメールでお知らせ!

詳しくは、オンラインチケットストア(右記)へアクセス下さい。

(友の会にご入会いただくと、自動的にオンラインに登録いたします。)

—— 芸術監督プログラムイメージキャラクターが決定しました!! ——

瓜生山学園生を対象に募集してまいりました、芸術監督プログラムイメージキャラクターのデザインコンペティション。5月11日に開催した京都芸術劇場 春秋座 芸術監督プログラム【伝統芸能の今】の公演のなかで、ついにその最優秀作品を猿之助芸術監督より発表。最優秀作品は、京都造形芸術大学情報デザイン学科コミュニケーションデザインコース 3 回生の小川洋子さんと金岡志帆さんがデザインした「このすけ」に



このすけ

決定。これから芸術監督プログラムの“顔”となる公式キャラクターとして、ホームページやチラシなど様々なところで活動していきます。そしてその活動は小川さん、金岡さんを中心とした学生たちによる“このすけプロジェクト”が本格的に進めてまいります! 学生とあなどるなかれ、若いパワーが猿之助芸術監督のプログラムを支えていきます。このすけの活躍に乞うご期待!!



学生による「このすけプロジェクト」の会議風景

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター

tel.075-791-8240

営業: 平日 10:00—17:00・公演開催日

京都造形芸術大学
舞台芸術研究センター

京都芸術劇場 春秋座・studio21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

tel.075-791-9207 fax.075-791-9438

URL: <http://www.k-pac.org/>

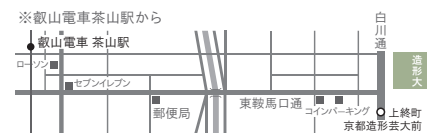
E-mail: k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp

京都芸術劇場ブログ

<http://www.kyoto-art.ac.jp/blog-theater/>

京都芸術劇場

検索



● JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

● 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204循環に乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

● 京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

発行/編集

京都造形芸術大学
舞台芸術研究センター

デザイン 吉羽 一之(シンプルホープ)

京都芸術劇場ニュースレター
vol.29 発行日—2014年7月1日